

災害時一斉情報配信サービスの運営事業者への 不正アクセスによる個人情報漏洩の可能性について（第一報）

京都市が利用する災害時一斉情報配信サービスを運営する事業者への第三者による不正アクセスが行われ、個人情報漏洩の可能性がある事案が発生しましたのでお知らせします。

● 経緯

令和 8 年 10 月 11 日 16 時 30 分、株式会社アルカディア（以下「システム運営事業者」という。）が運営する災害時一斉情報配信サービス（SpeeCAN RAIDEN（スピーキャン・ライデン））において不正アクセスが疑われる不審な挙動が確認され、その後、令和 8 年 10 月 12 日 3 時ごろ、侵入経路を塞ぐ応急措置が講じられました。

同時に影響範囲を特定するための調査が開始され、個人情報が漏洩した可能性があることから、令和 8 年 10 月 13 日 10 時 48 分にシステム運営事業者から京都市へ連絡がありました。

● 影響

SpeeCAN RAIDEN では、本サービスへの登録を希望された自主防災会の方の学区名及び電話番号又は FAX 番号が 83 件登録されています。これに加え、市の職員に災害時の配備体制情報を発信するため、職員の局区名及びメールアドレス並びに電話番号が 184 件登録されています。（計 267 件。なお、氏名は登録されておりません。）

また、現在、SpeeCAN RAIDEN が停止していることから、登録者への気象情報及び避難情報、職員への配備体制の一斉連絡ができない状況であり、電話や情報共有アプリ等により対応することとしています。

● 対応

情報漏洩の影響範囲は現在調査中であり、現時点での情報の流出は確認されていませんが、本件に関連した詐欺等の悪意あるメール等が送信されるおそれがあるため、京都市ホームページにおいて注意喚起を行っております。

● 今後の対応

システム運営事業者に対し、被害拡大の防止、原因の究明の指示を行いました。

< お問合せ先 >

京都市行財政局防災危機管理室

電話：075-222-3210